

チャレンジ！！オープンガバナンス 2019 市民／学生応募用紙

地域課題タイトル (注1)	No.	タイトル	自治体名
	19_1/1_1	日本初の純国産デュラム小麦「セトデュール」を使った「加古川パスタ」の普及促進について	加古川市
アイデア名 (注2) (公開)	加古川パスタファンプロジェクト ～加古川パスタと FIWARE (ファイウェア)、その他様々な出会いの中で～		

(注1) 地域課題タイトルは、COG2019 サイトの中に記載してあるエントリー自治体(連合)が掲げる地域課題を記入してください。

(注2) アイデア名は各チームが応募されるアイデアにつけるものです。アイデアにふさわしい名前を付けてください。

1. 応募者情報

チーム名 (公開)	オープン！！カコガワス (CodeforKobe・CodeforHarima の混合チーム)	
チーム属性 (公開)	<input type="radio"/> 1. 市民によるチーム <input type="radio"/> 2. 学生によるチーム <input checked="" type="radio"/> 3. 市民、学生の混成によるチーム	
メンバー数 (公開)	12 名	
代表者情報	氏名 (公開)	大前 裕輝
メンバー情報		福田 宏司 川井 浩陽 川上 泰明 西谷 友彬 搦本 明弘 木野下 竜也 高 淳 輔 野 方 純 石本 玲子 水野 あすか 三宅 佑香

(注意書き) ※ 必ず応募前にご一読ください。

<応募の際のファイル名と送付先>

1. 応募の際は、ファイル名を COG2019_応募用紙_具体的チーム名_該当自治体名にして、以下まで送付してください。東京大学公共政策大学院の COG2019 サイトにある応募受付欄からもアクセスできます。admin_padit_cog2019@pp.u-tokyo.ac.jp

<応募内容の公開>

2. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者と公開に同意したメンバー氏名、「アイデアの説明」は公開されます。

3. 公開条件について：

「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY (表示) 4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC (表示-非営利) 4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。

(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja>、および、<https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)

4. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。(例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公表いたしません)

5. この応募内容のうち、「3. 自治体との連携」は、非公開です。なお、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあり得ます。

<知的所有権等の取扱い>

6. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「自治体との連携」中も同様をお願いします。
7. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

<チームメンバー名簿>

チームメンバーに関する情報を最終ページに記載して提出してください。（2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。）

2. アイデアの説明（公開）

(1) アイデアの内容、(2) アイデアの理由、(3) 実現までの流れ、の三項目に分けて記入してください。

必要に応じて図表を入れていただいて結構です。

(1) アイデアの内容（公開）

アイデアは、課題解決のために、何をする社会的なサービス（活動）なのか、をわかりやすく示してください。これが将来実現した場合、魅力的で新規性があり、実践したり、活用したくなる、そしてその結果として、課題が解決される、そんなワクワク感のあるアイデアを期待します。2ページ以内でご記入ください。

<応募チームとして解決したい課題>

もっと加古川パスタファンを増やしたい！

<解決アイデアの内容>

このアイデアは、COG2018 をきっかけに **CodeforKobe とCodeforHarima で作られたチーム**が、2019 も独自に活動を進めており、その中で今まで出会った方々の協力がありながら、今まさに実現しようとしているものです。

アイデアは CodeforKobe、CodeforHarima からそれぞれ出ています。

CodeforKobe 発案『加古川パスタ×FIWARE の相乗効果』

1 八幡宮農組合が管理する小麦畑へセンサーを設置する。

現在構築中のセンサー機器です。



2 センサーデータを FIWARE に蓄積し、観測したデータを小麦の様子の写真とともに八幡宮農組合の公式インスタグラムから発信することで、加古川パスタファンを増やす。

配信イメージ図



根拠：地域創生・地方活性化に Instagram を活用すべき 2 つの理由

<https://find-model.jp/insta-lab/jirei-chihou-kasseika/>

3 また FIWARE に面白かつみんなが取り組みやすい「小麦畑で収集されたセンサーデータを FIWARE へ投入するワークショップ」を開催することで、FIWARE の活用事例にもなるし、話題も集まる。

CodeforHarima 発案『加古川パスタレシピオープンデータ化』

1 CodeforHarima 定例会で定期的に加古川パスタ試食会を実施する。

定例会と同時に開催した加古川パスタ試食会の様子。



2 加古川パスタのレシピをオープンデータする行うことで、加古川パスタファンを増やすことができ、加古川パスタ関連のネットも増える。メディアにも取り上げられやすくなる。

兵庫県民だより広報にも大きく取り上げられました。メディアに注目されつつあります。



加古川市 農事組合法人 八種営業組合

「国産パスタといえは加古川」を目指しデュラム小麦を作っています

パスタに向いているといわれるデュラム小麦は、普通小麦に比べて赤カビに強く、収穫時期が梅雨に重なる日本ではほとんど栽培されていません。加古川市八種町一帯の畑を管理する八種営業組合では、日本で最初に品種登録されたデュラム小麦「セテュール」の商用栽培に平成28年に初めて成功し、2年前からは種も自分たちで生産しています。

収穫後は市内にあるオーマイ製加古川工場で製麺され、「加古川パスタ」になります。ふつんと歯切れがいいのにもちっと感があるのが特徴で、今年の収穫分はタンパク質の含有量が高く、クリアな黄色が美しい自信作です!「国産パスタといえは加古川」と言われるくらい、産地として確立していきたいと思えます。(八種営業組合 米澤直人さん)

◎八種営業組合
☎079 (438) 3950
☎079 (438) 3952

10月には「加古川パスタレシピコンテスト」を開催、入賞したレシピは今春、ホームページで掲載予定です。

八種営業組合では20.5ヘクタールで栽培。

JJA兵庫県の農産物「加古川パスタ」などで販売されています。

※令和元年 12 月発行 県民だよりより一部抜粋

(2) アイデアの理由（公開）

このアイデアを提案する理由について、それをサポートするデータを根拠として示しつつ 2 ページ以内で説明してください。ここではアイデアの必要性、効果を確認します。データとは、統計類の数値データやアンケート・インタビューなどの資料や関連の計画、既存の施策などの定性データのことを総称します。データは出所を明らかにしてください。

まずはじめに 加古川パスタって何？

農業振興の課題として、安全・安心な農産物の生産を促すとともに、産地化、ブランド化、さらには 6 次産業化などにより、付加価値の高い農業を目指すことが課題となっています。そんな中、日本製粉と農研機構の共同研究と加古川市の八幡宮農の協力により誕生したセットデュールは、市内で生産したデュラム小麦の種子から小麦を栽培した日本初の純国産デュラム小麦であり、市内の製粉工場でパスタに加工して販売しているのが加古川パスタです。食べてみると、噛んだ瞬間に小麦の風味が口の中に広がり、もちっとした歯ごたえが特徴的なパスタです。（是非食べてみてください。）



東京大学 奥村先生が 2 度ほど東京から加古川市まではるばる来てくださり、COG2018 に引き続き COG2019 にも挑戦して欲しいというお言葉をいただきました。課内で相談した結果、昨年度、見事ポスターセッションに選出された加古川パスタの課題を引き続き提出し、提案募集を行うことになりました。

～エピソード 1～FIWARE を使ってみよう

Code for Kobe 定例会において FIWARE の紹介やワークショップの開催に向けて議題を持ち込んでいた NEC の木野下さん。ワークショップでは、実際にデータを使って FIWARE にデータを蓄積させることにより、FIWARE の活用可能性を体感してもらいたいと企画しているところでした。定例会の中で、「FIWARE の特徴は何ですか？」という川井さんからの質問に対し、「オープンデータ等の静的データから、センサー系などの動的データまで原則蓄積可能です。」と…。これは…！

～エピソード 2～ ひらめきに次ぐひらめき

「それなら、小麦の畑付近に設置するセンサーの気象データを FIWARE に入れてみたい！」という川井さんのアイデア。「COG2019 に、この取り組みを提案してみませんか？」という西谷さんのひらめき。これが CodeforKobe 発のアイデアが生まれた瞬間でした。



実は、COG2018 への応募がきっかけで、CodeforKobe のメンバーで「加古川パスタ」作戦会議という Facebook グループを立ち上げ、COG2018 終了後も、ひそかに加古川パスタの普及活動を行っていたのです。

そして今年の5月、「加古川パスタ」作戦会議メンバーで加古川パスタを生産している「八幡宮農組合」さんへお邪魔で普及活動に向けた意見交換を行った際、「**現在気象庁が取得している気温などの情報は姫路、三木、神戸しかないから、加古川とは気象が違うんや。加古川のだいたいの気温とかがわかればいいんやけど・・。**」という課題を知ったのでした。

SpecialThanks !

農事組合法人 八幡宮農組合公式ホームページ

<https://yahataeinoukumiai.com/>

八幡宮農組合公式フェイスブック（※是非いいねをお願いします。）

<https://www.facebook.com/yahataeinou/>

八幡宮農組合公式インスタグラム（※是非いいねをお願いします。）

https://www.instagram.com/yahataeinou_kakogawa/

八幡宮農組合公式インスタグラムより意見交換の様子

<https://www.instagram.com/p/ByEKhEFlud6/?igshid=zhzkrp93fbz6>

地域気象観測所一覧

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/amedas/ame_master.pdf

～エピソード 3～FIWARE といえばFISUSA さん

今年の10月3日～4日に京都のけいはんなオープンイノベーションセンターで開催された「京都スマートシティ EXPO2019」において、FIWARE Foundation ブースにおいて FIWARE に詳しい FISUDA 氏へ今までの件を相談。そのとき、ちょうど「さくらインターネット」と FIWARE が共同事業として、FIWARE のハンズオンセミナーを各地で開催しており、セミナー用に用意している FIWARE 環境を使わせていただけることに。本当にありがとうございます。

SpecialThanks !

NEC x さくら データ流通実証実験中間報告

<https://www.slideshare.net/ShunsukeKikuchi1/nec-x-20190624>

あなたのデータ、活用してみませんか？ データ流通プラットフォームによるデータ可視化のハンズオンセミナー開催！

<https://sakura.doorkeeper.jp/events/95487>

FIWARE 公式フェイスブック（※是非いいねをお願いします。）

<https://ja-jp.facebook.com/eu.fiware/>

～エピソード 4～ 加古川パスタレシピコンテスト パスタ試食会

時を同じくして、9月に世界パスタデー（10月25日）に向けて、加古川パスタを使ったレシピコンテストを八幡宮農さんが開催しました。かねてより加古川パスタのファン育成を目指している Code for Harima のメンバーも、加古川パスタコンテストへ5点レシピを応募し、加古川パスタ試食会を開催しました。

試食会では、今まで CodeforHarima に来たことがない新しい方も何名か来てくださり大盛況で、加古川パスタを知ってもらうとともに CodeforHarima の PR も出来たという WinWin なイベントとなりました。

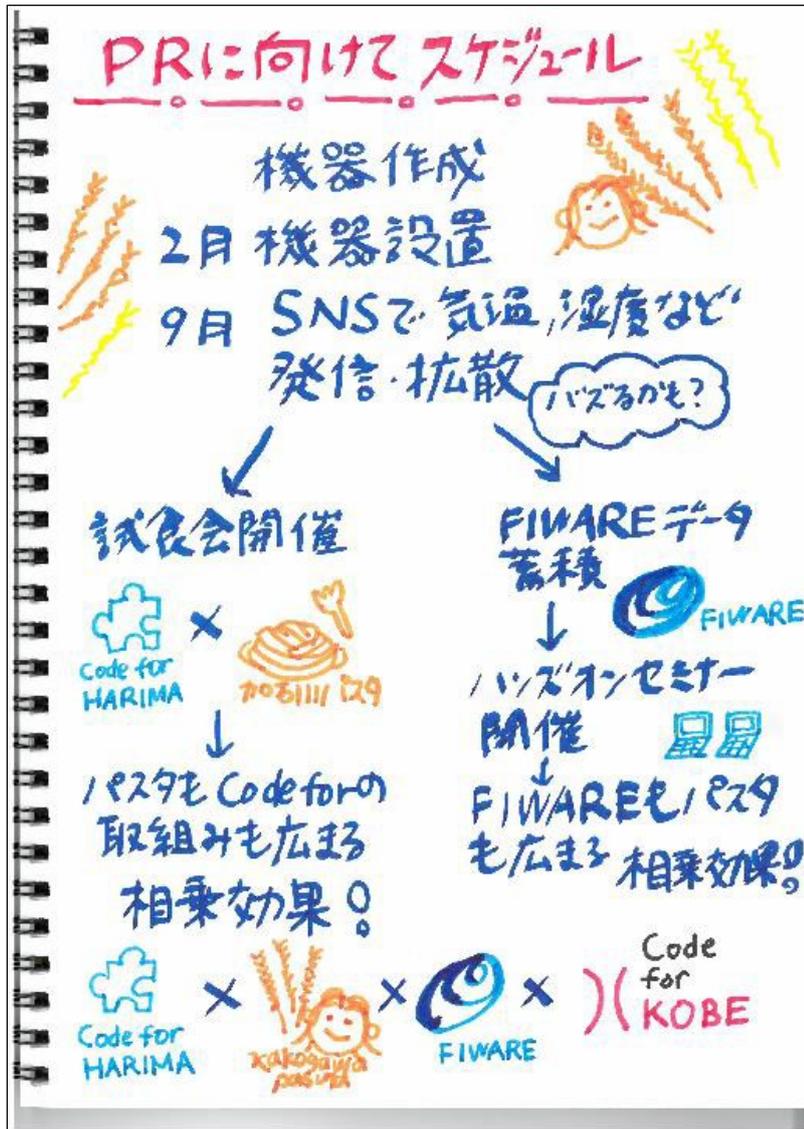
～エピソード 5～ 加古川パスタレシピコンテスト惜しくも落選、しかし生まれたレシピたちを発信したい

加古川レシピコンテストには惜しくも落選しましたが、CodeforHarima から生まれたレシピたちをオープンデータ化することで、二次利用が可能になり、加古川パスタファンがもっと増える！という水野さんのアイデアで、レシピをオープンデータ化することになりました。

(3) アイデア実現までの流れ (公開)

アイデアを実現する主体、アイデアの実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）の大まかな規模とその現実的な調達方法、アイデアの実現にいたる時間軸を含むプロセス、実現の制度的制約がある場合にはその解決策等、アイデア実現までの大まかな流れについて、2 ページ以内でご記入ください。ここでは実現可能性を確認します。

グラレコにまとめました



CodeforKobe 発案『加古川パスタ×FIWARE の相乗効果』

○2 月頃 麦の穂が実り始めるころ

1 八幡宮農組合が管理する小麦畑へセンサーを設置する。

※センサーの機器調達費は市の補助金を利用予定。

2 センサーデータを FIWARE に蓄積し、観測したデータを小麦の様子の写真とともに八幡宮農組合の公式インスタグラムから発信することで、加古川パスタファンを増やす。

○9 月頃 麦の刈り取りも終わり、データが集まりきたころ

3 NEC 様と共同で、FIWARE に「小麦畑で収集されたセンサーデータを FIWARE へ投入するワークショップ」を開催する。

CodeforHarima 発案『加古川パスタレシピオープンデータ化』

○2 月 オープンデータディなどの CodeforHarima 主催のイベント

1 加古川パスタ試食会を開催する。

○随時

2 加古川パスタのレシピをオープンデータ化する。

